平成31年度 家庭

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
家庭	子どもの発達と保育い	選択	1	第3学年後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	子どもの発達と保育　育つ・育てる・育ち合う
②	副読本	ニューライブラリー家庭科 資料+成分表2019
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を身につける。また、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身につける。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

乳幼児の誕生から幼児期までの発育・発達についての知識を理解する。それぞれの時期に応じた適切な保育の重要性いついて学習する。ﾊﾟﾈﾙｼｱﾀｰやﾍﾟｰﾌﾟｻｰﾄなどの保育実習を多く取り入れ実践的な能力を育てる。ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を身につけたい人に良いです。

特記事項

実習費として500円徴収。保育・幼児教育・初等教育系進学希望者は選択することが望ましい。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	日常生活（保育）を取り巻く諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、積極的、実践的な態度を身につけている。	保育実習、ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・発表、課題ﾚﾎﾟｰﾄ、ﾌﾟﾘﾝﾄ学習
B	思考・判断・表現	日常生活（保育）において直面する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、保育全般に関わることに対して適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	保育実習、ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・発表、ﾌﾟﾘﾝﾄ学習、小ﾃｽﾄ
C	技能	日常生活（保育）で必要とする基礎的・基本的な技術を身につけ、保育全般に関するさまざまな活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用できる。	保育実習、ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・発表
D	知識・理解	日常生活（保育）で必要とする基礎的・基本的な知識を身につけ、保育全般や社会全般の社会的な意義や役割を理解している。	保育実習、ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・発表、課題ﾚﾎﾟｰﾄ、小ﾃｽﾄ
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで									
前期	第二中間まで									
前期	期末まで									
後期	中間まで	① ②	子どもの健康と生活 子どもの食事 保育実習	12	大人の役割（AD） 基本的生活習慣（AD） 社会的生活週間（AD） ﾗｲﾌｻｲｸﾙに合わせた食事と特徴（ABD） 児童文化財製作（ABC）	A B D	子どもの生活環境を整えることの重要性を理解し、大人の役割を考える。（ABD） 生活習慣としつけについての知識を理解する。（ABD） えいようと食生活、乳児の食事、幼児の食事について理解すると共に、現代の乳幼児の食生活の現状やゆらぎを考える。（ABCD）	児童文化財製作実習（パネルシアター、ペープサートなど）グループ学習、発表 プリント学習 地域連携をとおして幼稚園との交流（予定）	コミュニケーション能力 プリント学習 制作物の発表	
後期	期末まで	① ②	子どもの衣服 子どもの遊びと生活 子どもの健康管理 保育実習	12	衣服の選択と条件(ABD) 子どもの病気と健康管理(ABD) 住まいの安全性(AD) 児童文化財製作(ABC)	A B C D	乳幼児の衣服の特徴について理解する。(ABD) 家庭内や家庭外での安全性について考え、問題点を理解する能力をつける。(ABD) 遊びの重要性を理解する。(ABC) 児童文化財発表をとおして表現力、コミュニケーション能力を身につける。(ABCD)	児童文化財製作実習（パネルシアター、ペープサートなど）グループ学習、発表 プリント学習 地域連携をとおして幼稚園との交流（予定）	課題テスト コミュニケーション能力 プリント学習 制作物の発表	5 4 3 2 1
後期	期末後	① ②	子どもの福祉・子育て支援 保育実習	6	児童福祉について(ABCD) 子育て支援(ABCD) 児童文化財製作と発表(ABCD)	A C D	現代の子育ての現状を把握すると共に、子育て支援について知識を深める。(AD) 児童文化財発表をとおして表現力、コミュニケーション能力を身につける。(AC)	児童文化財製作実習（パネルシアター、ペープサートなど）グループ学習、発表 プリント学習	コミュニケーション能力 プリント学習 制作物の発表	5 4 3 2 1